

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(748)1133
担当部課名	環境事業部	南清掃工場	管理	係
事務事業名	南清掃工場職場研修費(技術研修会)		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係法令、大気汚染防止法等の環境基本法、ダイオキシン類対策特別措置法等

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
工場の業務に関する専門的事項に関し、研修ニーズを有する技術系職員等を対象に、知識の習得、向上等を図る。		技術系職員等	
		対象数	24人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
ダイオキシン研修会 ・日時 平成13年6月21・22日 午前9時~11時 ・場所 工場内見学者説明室 ・講師 三菱重工業(株)横浜製作所 環境装置技術部 洞口 光弘氏 ・目的 ダイオキシン類についての知識を習得し、日常業務に生かす。(今回は全職員対象) ・決算 講師謝礼 40,000円(2時間×2日)		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	出席率		
指標式	出席者数 / 技術系職員数 × 100		
指標設定の意図	効果を考えると、全員出席が望ましい。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100.0	100.0	a 100.0	b 100.0	100.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	30	40	40	40
	人員・時間数	8H	8H	8H	8H
	人件費	34	34	34	34
	その他経費	0	0	0	0
	合計	64	74	74	74
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	対象者全員が出席している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	ガス化溶融炉、廃棄物処理法、ダイオキシン類と、毎年タイムリーな内容で実施している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	市の講師謝礼基準に基づき、最小の費用で必要な知識の習得ができていると考えられる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	ダイオキシン類関係の研修等は、公害防止と直結しており、市民にも満足してもらえる内容と思われる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	廃棄物の適正処理の推進のために、職員の資質向上が欠かせない。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 研修内容、講師の選択が重要である。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 市の講師謝礼基準に基づいている。4交代勤務の職員がいるため、2回実施でも8人は指定休の日に出てきており、1日にすることも不可能。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	ダイオキシン類への対応、南清掃工場の建替など、新たな問題が発生してくる中で、適正な廃棄物の処理のために、技術系職員等の専門的な知識の習得、向上は重要な意味を持っており、今後とも継続して行くことが必要である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--